

## 2026年度 国際漁業学会（JIFRS）大会

松井隆宏（東京海洋大学）・山田二久次（三重大学）  
・若松 宏樹（農林水産政策研究所）・事務局

2026年度大会は下記の通り三重大学にて行うことになりました。実施方式は対面です。多くの会員、関係者の皆様のご参加をお待ちしております。

会 場：三重大学生物資源学部（三重県津市栗真町屋町 1577）

日 時：2026年（令和8年）8月29日（土）～30日（日）

日 程：8月29日 午前：各種委員会・理事会

午後：シンポジウム

（漁村・地域活性化の多様な展開）

夜：懇親会

8月30日 午前：個別報告（申し込み数が多ければ午後も）

午後：総会等

参加費：一般会員 2,000 円

一般非会員 3,000 円

ただし、地元漁業関係者や学生は無料

懇親会費：一般 6,000 円、学生 3,000 円

※懇親会へ参加される方は、7月24日（金）までに下記リンクからお申し込みください。

懇親会参加申し込みフォーム：<https://forms.gle/5QmqPp9UQq6PDXWt5>

### ◆2026年度大会シンポジウム

テーマ：漁村・地域活性化の多様な展開

趣 旨：水産庁では、「海や漁村の地域資源の価値や魅力を活用する事業であって、（中略）地域のにぎわいや所得と雇用を生み出すことが期待されるもの」と定義し「海業」を押し進めているが、現実の海や漁村を含む「地域資源の活用」は、「地域のにぎわいや所得と雇用」に縛られず多様な展開をみせている。本シンポジウムでは、海や漁村を含む地域の活性化を広い視野から捉え、その多様な展開の実際および意義と可能性について検討したい。

座 長：松井隆宏（東京海洋大学 准教授）

報告者（順番は検討中）

報告1：福井逸人（東海農政局 次長（元 鹿屋市副市長））

報告2：友廣裕一（シーベジタブル 共同代表）

報告3：千田良仁（皇學館大学 教授）

報告4：大屋進之介（東京海洋大学 博士後期課程）・山田二久次（三重大学 准教授）・松井隆宏（東京海洋大学 准教授）

コメント1：有路昌彦（近畿大学 教授）

コメント2：調整中

※報告時間は1人25分程度で、2人のコメンテーターからのコメントを挟み、最後に1時間～1時間半程度のパネルディスカッションをおこないます。

#### ◆報告予定者に向けた連絡事項

##### ・個別報告について

個別報告は1報告あたり25分（質疑含む）の予定です。個別報告を希望する会員は、7月24日（金）までに報告者の氏名、所属、および報告タイトル等を、下記の 구글フォームでお送りください。

個別報告申し込みフォーム：<https://forms.gle/ikNd8ZXep2ZvUqWbA>

なお、発表者は会員に限られますので、未入会の方は学会 HP を確認し、入会手続きを行ってください。連名者は非会員でも問題ありません。

また、7月31日（金）までに報告要旨（40字×25行以内）を、8月21日（金）までにパワーポイント等による報告資料（当日までに改変可、事前に座長に渡します）を、それぞれ下記リンクからアップロードしてください。

個別報告要旨提出フォーム：<https://forms.gle/HLGJGsHPYQXRvnc7>

パワーポイント提出フォーム：<https://forms.gle/ajzV6z8seh6A2rie7>

個別報告の申し込みについてご不明な点がございましたら、メールで事務局までご連絡ください。

##### ・報告論文について

個別報告の報告者におかれましては、大会終了後に報告内容をベースとする10枚までの（図表を含む）コンパクトな和文論文を「報告論文」として和文誌『国際漁業研究』に投稿することができます。報告論文の査読手続きは一般投稿論文と同じで（ただし、審査は原則として2回までとする）、掲載料は1万円となっています。報告予定者におかれましては、「報告論文」への奮っての投稿をお願いします。

2026年度の報告論文投稿受付期間は大会終了後から2026年9月18日までです。投稿規定に準拠した論文原稿と投稿票を、編集委員長（若松宏樹：[hiroki\\_wakamatsu430@maff.go.jp](mailto:hiroki_wakamatsu430@maff.go.jp)）、編集幹事（神山龍太郎：[kamiyama\\_ryutaro30@fra.go.jp](mailto:kamiyama_ryutaro30@fra.go.jp)）、大会特集担当（浪川珠乃：[tnam001@kaiyodai.ac.jp](mailto:tnam001@kaiyodai.ac.jp)）の3名を宛先としてご提出ください。個別報告時と内容が大きく異なる原稿や、分量が規定を上回る原稿は受付できません。

審査のスケジュールは以下の予定となっております。

- ・報告論文〆切 9月18日
- ・第1回審査結果の返却予定 11月下旬
- ・第2回審査結果の返却予定
  - ・第1回の判定が「B：修正が必要（編集委員による確認）」の場合、2月上旬
  - ・第1回の判定が「C：大幅な修正が必要（再査読）」の場合、2月下旬

※上記のスケジュールは査読や修正が期限通りに実施された場合の見込みであり、この期限通りに審査が進むことを保証するものではありません。

※「原稿の書き方」の細かな点が改訂されました。投稿をご予定の方は、HPからファイルをダウンロードいただき、改めて内容やチェックリストをよくご確認ください。